

伊賀市スポーツ推進計画の進捗状況について

1. 令和6年度目標達成状況について

	成果目標	目標値	R 6実績	R 5実績
総合目標	・成人の週1回以上のスポーツ実施率	65.0% 程度	41.4%	41.9%
基本目標1 「する」	スポーツ人口の拡大 ・市民スポーツフェスティバルの参加者数	2,000人	800人	986人
基本目標2 「みる」	スポーツ活動の普及・啓発 ・スポーツ観戦に関心がある人の割合	90%	70.1%	74.3%
基本目標3 「ささえる」	スポーツ環境の体制整備・施設最適化 ・スポーツ施設の平均稼働率	55.15%	51.32%	49.74%

【総合目標】

- ▶実績値としては昨年度からあまり変化はないが、全国実績の52.7%と比べると11.3%も低く、計画策定から3年が経過したが、伊賀市では、「運動・スポーツ」を日常の中で楽しむ習慣が根付いていないと考える。引き続き、本計画に基づきスポーツの楽しさ、魅力を発信し推進していく必要がある。

【基本目標1】

- ▶市民スポーツフェスティバルの参加者数については、昨年度に比べ186人の減となったが、要因としては、多くの参加があったグラウンドゴルフが、同時期にグラウンドゴルフ協会主催の事業を開催することから、当該事業で開催しなくなったためである。
- ▶実績値としては減少したが、市内のグラウンドゴルフの競技人口は多く、このように、当該事業で開催しなくてもグラウンドゴルフ協会が主催の事業や取組で、市民が気軽にグラウンドゴルフを楽しめる環境が整ってきたことについては評価ができる。
- ▶各種目協会が活性化し、独立した運営が可能となることで、市民が気軽に運動・スポーツに触れる機会が増加すると考えられるため、今後も各種目協会の活躍に期待する。
- ▶一方で、今後の市民スポーツフェスティバルの役割としては、「運動・スポーツ」に関心がなく何もしていない方が、「運動・スポーツ」を始めるきっかけとなるような大会へと変えていくことを踏まえ、事業の見直しを検討したい。

【基本目標2】

- ▶スポーツ観戦に関心がある人の割合については、昨年と比べ4.2%減少した。
- ▶市内には、「伊賀FCくノ一三重」をはじめ、3×3プロチームの「ミエシノビギャザーズ」などトップレベルのチームが活躍しているが、市民のスポーツ観戦への関心の向上へは繋がっていない。
- ▶スポーツ施設的环境が整っていないことなどが要因の一つでもあるが、市として、情報発信への取り組みを強化し、市民のみなさんが、少しでも運動・スポーツに関心をもってもらえるよう取組を進めたい。

【基本目標3】

- ▶スポーツ施設の平均稼働率については、昨年に比べ1.58%の増加となった。
- ▶「伊賀市スポーツ施設再編・整備計画」を別に設け、当該計画に基づき整備を進めているが、市内のスポーツ施設は、経年劣化や老朽化した施設がほとんどであり、市民の皆さまが満足するスポーツ環境にはほど遠い状況である。
- ▶今後も、計画に基づき整備を進めていく必要がある。

2. 取組計画シートについて

【施策1】生涯スポーツの普及と推進

ライフスタイルに応じたスポーツ活動を推進し、心身の健康増進を図る

取組	通番	取組状況
①子どものスポーツ活動	1～4	概ね計画に沿って実施できている。
②成人のスポーツ活動	5～7	【通番5】 健康マイレージの普及では、事業の見直しが行われ、募集回数を複数回から1回としたこと、また応募の際の達成ポイントの条件を上げたことから応募人数が減少した。 健康推進課との連携を深め、市民が日常的に健康づくりに取り組んでもらえるよう事業を推進する。
③高齢者のスポーツ活動	8～12	概ね計画に沿って実施できている。 【通番11】※通番5と同じ
④障がい者のスポーツ活動	13～14	概ね計画に沿って実施できている。

【施策2】子どもの体力向上

体力向上とスポーツが好きになれる取組みの推進

取組	通番	取組状況
体力向上とスポーツが好きになれる取組みの推進	15～22	概ね計画に沿って実施できている。

【施策3】みるスポーツの推進

スポーツチーム等との連携、スポーツを活用した地域の魅力発信や誘客

取組	通番	取組状況
①スポーツチーム等との連携	23	概ね計画に沿って実施できている。
②スポーツを活用した地域の魅力発信や誘客	24	概ね計画に沿って実施できている。

【施策4】地域活性化やふれあい機会の醸成

地域スポーツの推進

取組	通番	取組状況
地域スポーツの推進	25～27	概ね計画に沿って実施できている。

【施策5】 競技スポーツの支援・連携

トップ選手の競技力向上とスポーツ協会との連携

取組	通番	取組状況
トップ選手の競技力向上とスポーツ協会との連携	28～29	概ね計画に沿って実施できている。

【施策6】 指導者・ボランティアの人材育成と団体の自主財源の確保

スポーツ指導者・ボランティアの育成と発掘、既存イベントの運営見直し

取組	通番	取組状況
①スポーツ指導者・ボランティアの育成と発掘	30～32	【通番 32】 ボランティアの募集について、昨年同様にシティマラソンではボランティアの募集を行ったが、市全体としてのスポーツボランティア制度の構築には至っていない。市内でスポーツボランティアを必要とする事業が増えてきそうな兆しが見えだした場合に、制度構築を検討したい。
②既存イベントの運営見直し	33～34	【通番 33・34】 各種イベントの見直し、各団体の安定的・自立型運営について、各種イベントの実行委員会事務局の在り方や、市が事務局を運営する団体の事務移管については、現在、さまざまな事業等を推進できるほどの団体が少ないことを踏まえ検討は進んでいない。まずは、市内の団体が活性化していく必要があり、市内の団体の組織強化を踏まえ、団体が成長できる施策を検討したい。

【施策7】 スポーツ施設整備と利便性の向上

計画的な施設改修・整備、利便性のある実施環境の提供

取組	通番	取組状況
①スポーツ施設の充実	35～37	【通番 35】 スポーツ施設整備事業について、施設の利用状況から工期が設定できず、令和7年度に工事を繰り越した。施設の修繕や改修はスポーツ振興に欠かせないことであるため、計画どおり実施できるよう改善していきたい。
②利便性のある実施環境の提供	38	【通番 38】 ※通番 35 と同じ ※パラスポーツの備品は、国等の支援のもと計画的に購入が進んでいる。